

■2022年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告総括表（「第2期豊岡市地方創生総合戦略 第4版」）

資料3

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている			
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている			
指 標	基準値 (2019年)	2022年実績値	目標値 (2024年)	
人口の社会増減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別人口推計調査1～12月）	△442人	△257人	△388人	

主要手段－具体的手段	重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	目標値	2022年度事業
手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	○ 豊岡公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	秘書広報課	831,716件 (2018年度)	2,566,680件	1,683,715件	1,340,000件 (2024年度)	
01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている	○ 豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	環境経済課	118,442件 (2018年度)	149,211件	152,654件	138,000件 (2024年度)	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂）、Iターン推進（移住プロモーション）、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、豊岡スマートコミュニティ推進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業（公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等）〔重複〕
01-02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	○ 新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	環境経済課	未測定	161人	141人	865人増 (5年間)	Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等）、高校生の総合学習等支援〔重複〕
01-03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている	○ 移住組数（窓口相談等利用者）	環境経済課	38組 (2018年度)	71組	58組	224組増 (5年間)	Iターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	○ 豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	政策調整課	41.1% (2018年度)	44.7%	45.4%	60% (2024年度)	
02-01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている	○ IT企業誘致件数	環境経済課	0件 (2019年度)	1件	3件	5件増 (5年間)	IT企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕
02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	○ 創業件数	環境経済課	19件 (2018年度)	19件	20件	110件増 (5年間)	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進
	○ 新規就農者数（青年等就農計画の認定者）	農林水産課	2人 (2019年度)	3人	5人	17人増 (5年間)	
02-03 豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	○ 靴製造品出荷額	環境経済課	104億円 (2019年調査)	96億円	84億円	116億円 (2024年調査)	豊岡靴ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
	○ 靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数	環境経済課	122人 (2020年度)	10人	9人	32人増 (4年間)	
02-04 市民が多様な人々を受け入れている	○ アーティスト・クリエイター移住者数	大交流課	5人 (2019年度)	9人	1人	35人増 (5年間)	多文化共生推進、子育て支援総合拠点等整備、Iターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等）〔重複〕、アーティスト・クリエイター移住等促進〔重複〕
手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている	○ 女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	ジェンダーギャップ対策室	0事業所 (2018年度)	12事業所	17事業所	20事業所増 (5年間)	
03-01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる	○ ファミリサポートセンター会員数	こども育成課	178人 (2018年度)	299人	330人	280人 (2024年度)	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02 性別に関わらず夫婦が家庭内で支え合っている	—	—	—	—	—	—	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03 ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	○ 子育て中の就労促進事業による就職内定者数	ジェンダーギャップ対策室	22人 (2018年度)	2人	—	150人増 (5年間)	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値	2021年度実績値	2022年度実績値	目標値	2022年度事業
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	○ 移輸出額	環境経済課	231,268百万円 (2017年度)	公表前	公表前	233,473百万円 (2024年度)	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	○ 観光消費額（インバウンド宿泊者）	大交流課	1,096百万円 (2017年度)	10百万円	257百万円	2,502百万円 (2024年度)	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（公衆無線LAN運用、高付加価値化 ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等）、観光まちづくり推進 （専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観 光推進
		○ 豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	大交流課	600人 (2019年度)	0人	1,265人	4,300人 (2024年度)	
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	○ コウノトリ育むお米輸出総量	農林水産課	17.2トン (2018年度)	18.6トン	18.6トン	60トン (2024年度)	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス 〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	○ アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計	大交流課	1,066人 (2018年度)	2,159人	2,353人	1,970人 (2024年度)	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2022、 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2022参 加）、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委 託、豊岡アートシーズン2022参加等）、アーティスト・イン・レジデ ンス、アーティスト・クリエイター移住等促進、演劇のまちづくり推進、地 域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協 同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
		○ アーティスト・クリエイター移住者数	大交流課	5人 (2019年度)	9人	1人	35人増 (5年間)	
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	○ イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	こども教育課 文化振興課	45人 (2019年度)	0人	0人	270人増 (5年間)	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生の総合学習等 支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考 えることがある児童・生徒の割合	こども教育課	小学生63.9% 中学生39.5% (2019年度)	小学生55.9% 中学生50.7%	小学生54.8% 中学生43.6%	小学生68.9% 中学生44.5% (2024年度)	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	○ ふるさとのひとやものに関わる活動を通して、ふ るさとや自分のことで、何か新たに発見したり、 考えたりしたことがあった児童・生徒の割合	こども教育課	小学生84.6% 中学生83.0% (2020年度)	小学生86.3% 中学生85.6%	小学生84.3% 中学生86.6%	小学生88.7% 中学生86.0% (2024年度)	ふるさと教育推進、おっとりっしゃ！とよおかのものづくり、高校生の総 合学習等支援〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果 たしている	○ 自分自身が関わって豊岡をよくしていこうと思 う高校生の割合	環境経済課	未測定	36%	49%	70% (2024年度)	高校生の総合学習等支援、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽 しんでいる	○ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広 げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	こども教育課	小学生83.6% 中学生78.8% (2019年度)	小学生82.8% 中学生80.3%	小学生87.0% 中学生81.2%	小学生88.6% 中学生83.8% (2024年度)	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支 援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
		○ 中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を 有する生徒の割合	こども教育課	55.3% (2019年度)	59%	60%	70% (2024年度)	
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	○ 婚姻数	ハートリーフ 推進室	282組 (2018年)	268組	秋公表	287組 (2024年)	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	○ 婚活イベントによる成婚数	ハートリーフ 推進室	0組 (2018年度)	0組	1組	5組増 (5年間)	民間団体への婚活イベント補助、若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	○ 出会い機会創出事業による成婚数	ハートリーフ 推進室	8組 (2018年度)	10組	6組	50組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーと ピー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕、若者独身者交流〔重 複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体 制が充実している	○ ボランティア仲人による成婚数	ハートリーフ 推進室	1組 (2018年度)	11組	13組	23組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（縁結びさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性 活躍推進調査、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕、出会い機会創出 （はーとピー）〔重複〕
		○ 結婚相談所による成婚数	ハートリーフ 推進室	5組 (2018年度)	3組	2組	42組増 (5年間)	